

# 監名会 第131回

## 「子どもシネマスクール成果作品上映会」 プロといっしょにスクール生たちがスタッフにキャストに大活躍

※  
上  
映  
作  
品  
※

### 第9回作品 「笑顔がいちばん」 2011年度 (52分)

～福島から避難してきた子ども達をいじめから救おう～

2011・3・11の東日本大震災から5年以上も経って、最近避難者いじめが表に出てきています。

私共は、2011.5月にはこの話を知り、第9回「笑顔がいちばん」を企画しています。その後準備、製作、翌2012・3・11には完成試写会を行っています。

福島県から避難してきた主人公の兄妹が「放射能がうつる」といじめに会う。一方で米国から引っ越してきた子は、日本全体が汚染されていると感じている。誤解を解くため、皆で原発事故について話し、最後は全員が理解し合うという物語。

「それでも生きて良かった」という主人公のセリフに観客は感動の涙を流していました。

プロデューサー：竹下資子／監督：坂下正尚／撮影：伊藤嘉宏／録音：岩田廣一／美術：林 隆／脚本：阿部桃子  
出演：上月左知子／石濱 朗／よの森あかね／横須賀泰希／中根一樹／板倉光隆／石浜美希 他

く  
2  
本  
と  
も  
3  
月  
の  
出  
来  
事  
く

### 第12回作品 「おじいちゃんの季節」 2015年度 (47分)

～地域で支える認知症～

第11回のテーマ「子どもの貧困」に引き続き、今回も社会問題化している「認知症」を取り上げました。

映画では、交通事故で両親を失くした3人姉弟が、一緒に暮らす祖父の認知症に向き合いながら、祖父の東京大空襲(1945年3月10日)の体験を知って成長していく姿を描きます。認知症は加齢で起こる一症状と考え、地域で支え合っていく人々の姿を描きました。

早乙女勝元さんと海老名香葉子さんにDVDをお送りしたところ、大変感動された由「お役にたつことがあればいつでも言って下さい」とのご返事をいただきました。

プロデューサー：竹下資子／監督：後藤俊夫／撮影：伊藤嘉宏／美術：小口詩子／脚本：佐藤 理  
出演：石濱朗／上月左知子／山科ゆき子／南原健朗／千葉誠樹／戸佐幸音／板倉光隆 他

第13回子どもシネマスクール制作発表 子どもシネマスクールのキャスト・スタッフ勢揃い!

※と き 2017年3月3日(金) 13:00開場 13:30開映

※と ころ 新宿区立 戸塚地域センター 7階ホール (03-3209-8001)  
(東京都新宿区高田馬場2丁目18番1号) <http://www.tcc-tokyo.net/>  
JR山手線・西武新宿線の高田馬場駅「早稲田口」から徒歩3分  
地下鉄東西線高田馬場駅「2番出口」から徒歩3分

※資料代・聴講代 会員無料

入会方法：郵便振込用紙に必要事項をご記入の上、下記口座に年会費(普通会員6千円、正会員12千円)をお振込願います。

【口座番号：00130-0-600858 加入者名：特定非営利活動法人 日本映画映像文化振興センター】

※お問合せ TEL：03-3200-2118 FAX：042-344-3399

受付時間：平日9:00～17:00 竹下あてお願いします

〒163-8799 新宿郵便局私書箱164

主催



NPO法人 日本映画映像文化振興センター

<http://www.eibunsin.com>